
No pain no gain!!

美尋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

No pain no gain!!

【Nコード】

N7108I

【作者名】

美尋

【あらすじ】

世界最大のブルーダイヤを狙うルパンとキッド、それを阻止するコナン。

危険で最凶な三つ巴戦が始まる!!

Are you ready?

01: Declaration

澄み切った青空に男は目を細める

遠くで鳴る汽笛に、口角を上げて笑う

黒に身を包む男・・・次元大介は手の中で薬莢を転がす

今回の仕事の為に2日間徹夜で作り上げた薬莢だ

「お〜い、次元ちゃん！！」

車のエンジン音と共に間延びした声が聞こえる

後ろを振り返ると、長年連れ添った猿顔の相棒が手を振っている

黄色いボディーが二日酔いには眩しい

次元は隣に停まった車の助手席のドアを開けたが

そこには既に先客が鎮座していた

「五右エ門」

「久し振りだな、次元」

実に数か月、否、半年ぶりに会った

天然記念物なサムライと軽く挨拶を交わして

開けたドアを閉めると、いつもと違って後部座席に収まった

「そんで、今回は何を盗むんだ？」

「まあまあ、それは後でゆ〜っくり話してあげるから」

それより今は……

ルパンがその次の言葉を言う前に

サイレンの音と拡声器からのガラガラ声が聞こえてくる

「ルパン！ 逮捕だあ！！」
「とつつあんから逃げましょー！！」

ルパンが思い切りアクセルを踏む

黄色いボディーは時速140kmを出してパトカーとのおいかけてが始まった

パトカーにも引けを取らないスピードで逃げるルパンとすっぽんのように離れないパトカー

ルパン達3人が車の時速を60kmまで落とせたのはそれから2時間も後のことだった。

「世界最大のブルーダイヤ、『女神の口付け』

大戦中に何度も各国の首相の手から首相の手に渡った代物で

今はフランスの大富豪、ニコラ・ティヨンが大切に宝石箱に仕舞いこんでる」

「……」

「あら？ 乗り気じゃなかったりしちゃったり？」

「こいつを狙う理由は？」

ルパンの肩がピクンと跳ねる

それに目敏く気付いた次元は煙を思い切りルパンに吹きかけた

「まさか……」

「……ピ〜ンポ〜ン」

どこに隠し持っていたのかクラッカーを盛大に鳴らしたルパン
次元は思い切り苦虫を噛み潰したような表情になった

「あの女のどこがいいんだか」

「そりゃもつちろん……」

全部に決まってるでしょーが」

ぬふふふ……と含み笑いをしたルパンを次元と五右エ門は
変なものを見るような目で見た

02:Declaration?

ルパン一行が近くのアジトに無事帰った頃

米化町5丁目の毛利探偵事務所では

遊びに来ていた元太達を余所に退屈そうにテレビを見ているコナンがいた

この時間、テレビでは子供向けの番組しかやっていない

ニュース番組を探してチャンネルを次々と変えるが

ドラマがアニメになったりバラエティーになったりの変化はあるものの

探している番組は見つからない

新聞のラテ欄を見れば7時までまたなければいけないのだと告げられる

がつくりと肩を落としたコナンの耳に期せずして

『ドラマの途中ですがここで臨時ニュースです』

緊迫した恋人同士の修羅場から一転、違う意味で緊迫した面持ちのアナウンサーが

コナンの目に入る

後ろではドラマ中断にブーブーと文句をたれる子供達と

コナンの変わりように苦笑する灰原哀がいる

『昨夜、世間を騒がせている怪盗キッドから警視庁に予告状が届きました』

「……キッドから」

キッドの言葉に、項垂れていた子供たちの目に輝きが戻る

『これがキッドからの予告状です』

テレビ画面いっぱいに映し出された予告状

” 月が暗闇を照らす頃

望まず悪の手に落ちた女神の口付けを
優しく華麗に盗ませていただきます”

毎度おなじみのキザな言い回しにキッドのマーク
コナンは文中にある『女神の口付け』の情報を記憶の中から引っ張
り出した

「……確か、幸せを運ぶジュエルって言われたんだよね」
「幸運の女神様のキスを受けられたってところかしらね」

キッドの予告状と代わって映し出される青いダイヤ
タバコの箱と大きさを比べても分かるようにダイヤの中ではかなり
大きめだ

子供達が感嘆の息を漏らす

「すっげえええ……」

「綺麗だねー!!!」

「はい、これは今まで様々な首相に愛されてきた宝石ですからね」

「………退屈しのぎになりそうかしら」

「まあな………」

次こそは、正体暴いてやるよ怪盗キッド……
窓の外、うつすらと見えている月を見上げてコナンは不敵に微笑ん
だ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7108i/>

No pain no gain!!

2010年10月28日06時04分発行